

# インプラント付着型の義歯だから外れない 何でも食べるようになります

多くの方が入れ歯で  
お悩みです

今回は入れ歯になった場合のお話です。歯を失って入れ歯になると、多くの方が「噛むたびに外れてよく食べられない」「噛むたびに痛くて力が入らない」「しゃべると外れる」「食べるスピードが遅い」などの悩みを抱えます。また、「カラオケで歌うときに入れ歯が外れてしまって楽しい」「パネが見えて見た目が悪い」「気持ちが悪い」といった不満をお聞きすることもあります。他にも、入れ歯になってシワが増え、老け顔になったと悲しむ方もいらっしやいます。

**インプラント付着型の義歯で  
まるで自分の歯のように  
食べることやしゃべることが  
できるようになります**

入れ歯が使いつらい場合は、丁寧に診査診断をして1つひとつの問題点を解決すると悩みが解消できます。それに加えて、2〜4本のインプラントと付着装置（アタッチメント）で入れ歯を固定す

ると、見違えるように入れ歯が使  
いやすくなるのです(図1・2)。

入れ歯が外れることがほとんど  
なくなります。アタッチメントが  
付いているので入れ歯を自分で  
取り外すこともできるうえ、イン  
プラントの本数が2〜4本程度  
と少なくて済み、通常のインプラ  
ント治療よりも簡単に手術がで  
きるものがほとんどです。小さな  
入れ歯にすることができると、め  
着け心地も快適。パネも出ないの  
で入れ歯だと分かりにくく、美し  
くなります。

まず、①入れ歯をしつかりと適  
正な状態に調整します。②CTや

図1

インプラント  
付着型の義歯  
インプラント  
アタッチメント  
インプラント



↓顎に2本のインプラントが入っている。インプラント付着型義歯がインプラントを介してインプラントに固定される。

図2

当院のインプラント付着型義歯の症例



▲義歯が入っていると、インプラント付着型義歯で固定されて、しっかりと噛める。なんでも食べることができ。しゃべっても歌っても外れることはない。入れ歯と分からないほど見た目も良い。

▲入れ歯を外したところ：顎に2本のインプラントが入っている。このため2本のインプラントによって義歯がしっかりと固定される。

コンピュータでシミュレーションしてインプラントを入れる位置を計画します(第29弾参照)。  
③シミュレーション通りに特殊な装置を使ってインプラントを入れます。  
④入れ歯を調整しながら骨とインプラントがつくまで3カ月ほど待ちます。  
⑤入れ歯を固定するアタッチメントをインプラントと入れ歯につけます。  
食べること、しゃべること、楽しむことは健康の原点です。インプラント付着型義歯で体も元気になり、健康ライフを送ることができるよう。インプラント付着型義歯については、専門家にご相談下さい。

※高度先進医療は保険外診療になることがあります。



医療法人  
くらうえす丸歯科  
院長市丸英二先生

長崎大学歯学部大学院卒業後、米国スタンフォード大学医学部研究員を務める。長崎大学臨床教授、日本歯周病学会認定専門医・指導医、日本口腔インプラント学会インプラント専門医として活動中。